

| | | | | | |
|------|--|-----|----|------|-----|
| 科目名 | 老年看護学概論 | 時期 | | 時間 | 単位 |
| 担当教員 | 専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う | 2年次 | 前期 | 30時間 | 2単位 |
| 学習目標 | 1 老年期における看護の機能と役割を理解する 2 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する 3 高齢社会における保健・医療・福祉の動向を理解する 4 高齢者における権利擁護とエンドオブライフケアの重要性を理解する | | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|---------------------|--|--------------------------|
| 回数 | 項目 | 内容 | 方法 |
| 1～2 | 老年看護の特徴 | 1 「老い」ということ 2 老年期の発達課題 3 老年看護のなりたち 4 老年看護の役割と老年看護に携わる者の責務 | 講義 |
| 3～9 | 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴 | 1 加齢に伴う身体的側面の変化 (1) 皮膚とその付属器、視聴覚とその他の感覚 (2) 循環系、呼吸器系、消化器系 (3) ホルモンの分泌 (4) 泌尿・生殖器、運動系 2 加齢に伴う心理的側面の変化 3 加齢に伴う社会的側面の変化 (1) 高齢者と家族、高齢者の暮らし | 講義・演習 【演習】 高齢者擬似体験 |
| 10～12 | 高齢社会における保健・医療・福祉の動向 | 1 超高齢社会と社会保障 (1) 超高齢社会の統計的輪郭 (2) 高齢者の健康状態、死因、死亡の動向 2 高齢社会における保健医療福祉の動向 (1) 高齢者にかかわる保健医療福祉システムの構築 (2) 高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化 | 講義 |
| 13 | 高齢者の人権と倫理 | 1 高齢者の権利擁護 (1) 高齢者差別、虐待 (2) 高齢者の身体拘束 (3) 権利擁護のための制度 | 講義 |
| 14 | エンドオブライフケア | 1 エンドオブライフケアの概念 2 「生きる」ことを支えるケア 3 意思決定への支援 | 講義 |
| 15 | 試験 (90分) | | |

| | | | |
|----------|---------------------------|-----------|--------|
| 使用テキスト | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 | 北川 公子 他 | 医学書院 |
| | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 | 鳥羽 研二 他 | 医学書院 |
| | 国民衛生の動向 | | 厚生統計協会 |
| 参考図書・資料等 | DVD 目で見える老年看護学 高齢者の生理機能Ⅰ | 感覚・運動・神経系 | |
| | DVD 目で見える老年看護学 高齢者の生理機能Ⅱ | 消化・腎・排泄系 | |
| | DVD 目で見える老年看護学 高齢者の生理機能Ⅲ | 循環・呼吸系 | |
| 評価方法 | 筆記試験、課題レポート | | |

| 科目名 | 老年看護援助論 I | 時期 | | 時間 | 単位 |
|------|--|-----|----|------|-----|
| 担当教員 | 専任教員・非常勤講師 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う | 2年次 | 前期 | 30時間 | 1単位 |
| 学習目標 | 1 脳血管障害、認知機能障害、運動器障害をもつ高齢者への看護を理解する 2 褥瘡を予防するための援助方法を理解する | | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|------------------|---|---|
| 回数 | 項 目 | 内 容 | 方法 |
| 1～4 | 脳神経機能障害をもつ高齢者の看護 | 1 脳血管障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) 脳血管障害 (大脳、小脳) (2) 頭部外傷 (3) パーキンソン症候群 (4) その他高齢者に多い脳血管障害 2 生じやすい看護問題と看護 (1) 急性期、回復期、維持期の看護 (2) 生じやすい看護問題と看護 ア 歩行や転倒予防に対する援助 イ 日常生活に関する援助 ウ 薬物療法時の援助 エ 家族への支援 | 講義・演習 (非常勤講師) |
| 5～7 | 認知機能障害をもつ高齢者の看護 | 1 認知機能障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) うつ (2) せん妄 (3) 認知症 2 認知機能および生活機能の評価 3 認知症の予防と看護 | 講義 (専任教員) |
| 8～11 | 運動機能障害をもつ高齢者の看護 | 1 運動機能障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) 大腿骨頸部骨折 (2) 骨粗鬆症 (3) 関節リウマチ (4) 椎間板ヘルニア (5) その他高齢者に多い運動機能障害 2 大腿骨頸部骨折患者の看護 (1) 処置・治療に伴う経過と看護 (2) 生じやすい看護問題と看護 (3) 関節可動域訓練 (4) 牽引療法、ギプス固定 | 講義・演習 【演習】 〈レベルII〉 34 自動・他動運動 39 関節可動域訓練 (非常勤講師) |
| 12～14 | 褥瘡予防の援助 | 1 褥瘡の病態、症状、検査、診断、治療 2 褥瘡をもつ患者の看護 (1) 発生要因のアセスメント (2) 褥瘡リスクの評価ツール (3) 外力に対する看護 (4) 組織耐久性の低下へのケア (5) 褥瘡の評価 3 褥瘡予防の援助技術 | 講義・演習 【演習】 〈レベルII〉 71. 72. 73 褥瘡ケア (非常勤講師) |
| 15 | 試験 (90分) | | |

| | | | |
|----------|-------------------------------------|---------|------|
| 使用テキスト | 系統看護学講座 専門分野II 老年看護学 | 北川 公子 他 | 医学書院 |
| | 系統看護学講座 専門分野II 老年看護 病態・疾患論 | 鳥羽 研二 他 | 医学書院 |
| | 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学7 脳・神経 | 井手 隆文 他 | 医学書院 |
| | 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学10 運動器 | 加藤 光寶 他 | 医学書院 |
| | 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 | 任 和子 他 | 医学書院 |
| 参考図書・資料等 | DVD 目で見える老年看護学 第2版 看護技術IV 認知症高齢者の看護 | | |
| 課題レポート | | | |
| 評価方法 | 筆記試験、課題レポート | | |

| 科目名 | 老年看護援助論Ⅱ | 時期 | | 時間 | 単位 |
|------|---|-----|----|------|-----|
| 担当教員 | 専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う | 2年次 | 後期 | 30時間 | 1単位 |
| 学習目標 | 1 老年看護に関する理論・概念を理解する 2 治療を必要とする高齢者の看護を理解する 3 高齢者の生活機能を整えるために必要な援助技術を習得する 4 老年期にある対象の問題を解決するための方法を考え記述できる | | | | |

| 授 業 計 画 | | | |
|---------|-----------------|--|---|
| 回数 | 項 目 | 内 容 | 方法 |
| 1 | 老年看護で用いられる理論・概念 | 1 老年看護における理論の活用 2 老年看護に役立つ理論・概念 (1) サクセスフルエイジング (2) ストレングスモデル | 講義 |
| 2～3 | 治療を必要とする高齢者の看護 | 1 検査、薬物療法を受ける高齢者の看護 2 手術を受ける高齢者の看護 3 リハビリテーションを受ける高齢者の看護 4 入院治療を受ける高齢者の看護 | 講義・演習 |
| 4～9 | 高齢者の生活機能を整える看護 | 1 日常生活を支える基本的活動 (1) 生活の基本となる日常生活動作 (2) 日常生活活動（動作）の評価 2 転倒・転落、廃用症候群の予防と援助 3 食事・食生活の援助 (1) 誤嚥予防の援助 (2) 脱水予防の看護 4 排泄（排尿・排便）の援助 (1) 排泄ケアの基本 (2) 排泄障害 5 清潔・整容の援助 (1) 皮膚障害 (2) かゆみ予防の援助 6 生活リズムを整える援助 (1) 睡眠と覚醒の変化 (2) 生活リズム 7 高齢者におけるセクシュアリティ 8 高齢者の社会参加を促す援助 9 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション (1) 難聴 (2) 視力障害 | 講義・演習 【演習】 〈レベルⅠ〉 29 廃用症候群のリスク 〈レベルⅡ〉 20 失禁のケア 40 廃用症候群予防のための呼吸機能高める援助 53 口腔ケア 〈レベルⅣ〉 24 皮膚粘膜の保護 30 睡眠を意識した活動の援助 |
| 10～14 | 事例展開 | 1 看護過程の考え方 2 事例展開の実際 (1) アセスメント (2) 看護上の問題点の明確化 (3) プランニング (4) 老年看護学実習で起こりやすいヒヤリ・ハットとその要因 | 講義・演習 |
| 15 | 試験 (90分) | | |

| | | | |
|----------|---------------------------|---------|------|
| 使用テキスト | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 | 北川 公子 他 | 医学書院 |
| | 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 | 鳥羽 研二 他 | 医学書院 |
| | 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 | 任 和子 他 | 医学書院 |
| 参考図書・資料等 | | | |
| 評価方法 | 筆記試験 | | |

| | | | |
|-----|---------|-----|-------|
| 科目名 | 老年看護学実習 | 4単位 | 180時間 |
|-----|---------|-----|-------|

I 老年看護学実習 I (2単位 90時間)

| | |
|------|---|
| 実習目的 | 入院治療を必要とする老年期にある対象とその家族を理解し、老年看護の基礎となる知識・技術・態度を修得する。また、対象の生活する住環境の実際について理解する |
| 実習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 老年期にある対象とその家族の特徴を理解する 2 老年期にある対象の健康課題を改善するために、その人らしい生活を送れる看護を展開する 3 老年期にある対象を尊重し、円滑なコミュニケーションが図れる 4 地域で生活する老年期にある対象の住環境について理解する 5 老年期にある対象との関わりを通して老年看護について考察する |

II 老年看護学実習 II (2単位 90時間)

| | |
|------|---|
| 実習目的 | 地域や病院で生活する高齢者とその家族の健康および健康課題ならびに施設で生活する認知症のある高齢者について理解し、病院や施設、地域の連携を含めた継続的な支援体制を考慮しながら、ニーズに応じた援助ができる基礎的能力を修得する |
| 実習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 対象とその家族を対象者として人間関係を築き、生活と健康および健康課題について理解する 2 健康課題を抱え病院に入院している老年期にある対象者を理解し在宅復帰に向けた看護を展開する 3 地域で自立して生活をしている高齢者について考察する 4 グループホームで生活する高齢者の健康課題を把握し、援助について考察する 5 病院、施設、地域における関係職種・機関との連携・調整について学び、看護職の役割について考察する |